

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 藤田 孝太郎
札幌市中央区北2条西7丁目(かでの2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費を含む)
非会員 同 2,000円

第72回 全道身体障害者福祉大会 弟子屈大会

令和6年9月24日(火)、弟子屈町において、北海道身体障害者福祉協会と釧路地区身体障害者福祉協会が主催で、第72回全道身体障害者福祉大会を開催しました。



全道各地から多くの方にお集まりいただきました。

最初に物故者に黙祷を捧げた後、大会長を務める北海道身体障害者福祉協会の藤田会長から挨拶があり、本年4月に改正障害者差別解消法が施行となり、民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されることに触れ、「活動の支援をいただきたい関係団体・企業等とともに北海道に根差した心のバリアフリーを広げ、障害者差別のない誰もが住みやすい地域社会を目指し一層努力したい。」と決意を述べました。また、大会実行委員長で釧路地区身体障害者福祉協会の石田会長からは、「本大会を通して、誰もが自分らしく安全安心に暮らせる地域共生社会の実現をめざして、関係機関・関係者が力を合わせていかなければならない。」と挨拶があり、次に徳永弟子屈町長から全道各地からの参加者を歓迎するとともに障害者基本計画の基本理念に基づき就労支援等障害のある人の自立心や自尊心の育みに向けた取り組みを推進していることが述べられました。

この後、障害のある方々の更生援護に尽くされた方に北海道善行賞が贈られ、大会に出席した2名に道釧

路総合振興局の木村局長から表彰状が授与されました。次に、日身連から会長表彰2名、北身協から自立更生者8名と援護功労者20名に対しての会長表彰が、出席した12名に藤田会長から表彰状が授与されました。来賓である鈴木直道知事の祝辞を木村局長が代読し、表彰者を労うとともに「ほっかいどう福祉プランが本年3月に策定され、障害のある方々の就労支援体制の構築など、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、市町村・支援団体などと連携し施策に取り組み。」とメッセージが寄せられ、近江屋弟子屈町議会議長からは、「障害の有無にかかわらず、一人ひとりがお互いの人格や個性を尊重し合いながら、共生できる社会の実現に向け、より一層努力する。」旨の祝辞を述べられました。



表彰を受けられた方々

続いて、厚岸町の田中医院デイケアセンターさくらの理学療法士村上奈緒さんから「障害と就労」実際に働いてみて思う事」と題して、ご自身の経験をもとに障害者の就労の様々な課題や対応方向などについて講演をしていただきました。



田中医院デイケアセンターさくら 理学療法士 村上 奈緒 氏

全体会議では、「バリアフリートイレの設置拡大」「車椅子による踏切事故の防止」「聴覚障害者への合理的配慮提供を示す方法として耳マークの掲示」「障がい者雇用の推進」について、道などの関係機関に要望していくことを決議しました。また、障害によって分け隔てられることなく、誰もが安全安心に暮らせる地域共生社会の実現を目指し、一致団結して行動することを旨とする大会宣言を承認しました。

来年の大会は、十勝管内帯広市で9月下旬の開催を予定しています。

盲ろう者通訳・ 介助員養成講座

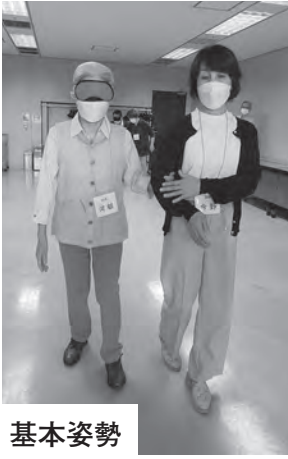
9月14日(土)～10月27日(日)の全8回、道民活動センターにて、開催しました。

今年は、札幌市内より札幌市外の方々が多く、北海道内の様々な地域から申し込みがあり、男性の方の参加も多くありました。



手書き文字を使って
コミュニケーション

1日目は、盲ろう者の概論の講義から始まり、手書き文字や盲ろう者疑似体験、移動介助支援の基本姿勢等について実技を交えて学びました。



基本姿勢

初めて聞く言葉や、実習の体験など、不安や緊張の中、同じ志を持つ者同士、一生懸命に取り組んでいました。

2日目は、地域生活の状況や指点字などについての講座のあと、指点字や手書き文字の応用でした。



手書き文字の応用

3日目は、コミュニケーション方法のひとつである弱視手話や触手話について、実際に盲ろう講師と接しての実践を行いました。



弱視手話や触手話の体験

4日目は、音声での通訳方法や、階段やドアがある所を通る際の介助方法について実践しました。



引き扉の通過の仕方

5日目は、食事場面での疑似体験や、屋外・横断歩道での移動介助を学びました。



食事場面での疑似体験

屋外・横断歩道にて

6日目は、心構え等についての講義、買い物場面での通訳・介助について実習しました。



7日目は、通訳・介助員の業務や、通訳・介助支援の総まとめを行い、8日目は、実際に盲ろう者との外出をし、演習を行いました。



総まとめの演習です。

本番と同じように外出しました。



コミュニケーション方法は様々ですが、実習を通して伝わる喜びを感じられたこと、それによってますます盲ろう者の支援への想いが強まったことと思います。ただ、伝えれば良い、介助すればいいのではなく、通訳・介助員として「豊かな支援」ができるよう、これからも頑張っていきたいと心から願っています。

障がい者パソコン教室

滝川身体障害者福祉協会

8月7日(水)・8日(木)に、滝川市三世交代交流センターで障害者パソコン教室を開催しました。

今年は、滝川市社会福祉協議会の尾西良介氏を講師に招き、「マイバッグにアイロンプリント」に挑戦しました。参加者は画像を編集・印刷しながら、思い思いの作品を完成させました。作品が出来上がると、皆さん自分の作品に満足そうな表情を見せていました。

インターネット検索で取り込んだデザインは、華やかなデザインや落ち着いたデザインなど様々でした。2日間にわたって開催された教室は、楽しく、熱心にWordの画像操作などについて学びました。



個性が光るマイバッグの完成!

美唄身体障害者福祉協会

8月21日(水)、美唄市総合福祉センターにて、澁谷茂氏を講師にお迎えし、障がい者パソコン教室を開催しました。

パソコンの操作方法を学びながら、作品づくりをしました。インターネットを使ってイラストや画像の検索、取り込み、プリントして、暑中見舞ハガキやオリジナルの年間カレンダーを作りました。



オリジナルのカレンダーと記念撮影

補助講師の方のサポートや、参加者同士助け合いながらの作業を通して、親睦や交流が図られ、楽しいひと時となりました。

帯広身体障害者福祉協会

9月9日(月)・10日(火)、帯広市グリーンプラザにて、斎藤雅博氏を講師にお迎えし、障がい者パソコン教室を開催しました。

1日目はパソコンの基本操作や技術力アップを学び、2日目は9月29日に帯広市で開催される「北海道障がい者スポーツ大会」に向けての応援用うちわと、各々オリジナルうちわを作りました。

参加者からの様々なアイデアを生かし、応援の気持ちが入められた素敵な作品が出来上がり、大会へ向けての話も盛り上がりました。

すてきな応援用うちわができました。



賛助会員の皆様へ
心より感謝申し上げます。

「障害者の福祉の向上に寄与する」という本協会の趣旨にご賛同いただき、ありがとうございます。

- ◆ NPO法人 ホップ
- ◆ 障害者地域生活支援センター様
- ◆ 社会福祉法人 北海道博愛社様
- ◆ 社会福祉法人 北海道宏栄社様
- ◆ 有限会社 岩見沢義肢様

(令和6年9月末日迄分)

令和7年度の行事予定

- ★定時総会
6月12日(木) 13時30分〜
- ★事務担当者会議
8月7日(木) 13時30分〜
- ★全道福祉大会(帯広市)
9月29日(月)
- ★交流会
9月28日(日)

今年も、あと1ヶ月となりました。寒くなりますが、体調に気を付けて元気にお過ごしください。

釧路地区身体障害者福祉協会

「スポーツ交流会」



白熱した戦いが見られた「山をこえろ！」

去る8月20日(火)釧路市障がい者教養文化体育施設(サン・アビリティーズくしろ)にて、開催しました。石田会長の開会あいさつにはじまり、全員で準備体操を行い、しっかりと身体を整えて競技に臨みました。今回は、まず室内カールディングゲームを2チームに分かれた対抗戦で行いました。的をめぐってまっすぐポールディスクを投げ入れます。しかし、床が歪んでいるのかポールディスクが歪んでいるのか、なかなかまっすぐに進んでくれず、先の読めない展開となりました。競技が進むと次第にコツを得て、相手ポールをはじき出す技を披露する方もいらつしやるなど、一喜一憂しながらみなさん楽しくプレーされていました。

続いて行ったのは「山をこえろ！」。ソフト平均台(山)を中央に置き、両サイドにチームごとに分かれ、座りながらプレーできるゲームです。足元に散りばめられた厚紙の輪を棒ですくい上げ、(山をこえて)相手陣地に落とすいき、制限時間内に多く落とし入れたチームの勝ちです。シンプルですが、これが思いのほか大盛り上がりでした。サン・アビリティーズくしろの職員さんが審判をして下さったのですが、「スタート」「ストップ」の掛け声も構わず、輪は山をこえ放題で、厳正なる審判にも言いがつか場面があったり、笑いもおきる中、楽しく盛り上がる事ができました。競技のあとは、みんなでお弁当を食べながらひと休みしました。閉会式では矢代副会長より、サン・アビリティーズくしろの職員さんへの感謝と、競技に取り組んで下さった会員さんを労うあいさつで締め括られました。会員さんがお帰りの際には、会長と副会長より、おひとりおひとりに景品をお渡ししながらお礼を伝えられていました。今回初めて参加された方が「楽しかった」と笑顔をみせて下さり、事務局としても嬉しい事です。最後まで無事故で終えることができましたことに感謝いたしますとともに、今年の景品にも、匿名での寄贈品が含まれております。寄贈して下さいました方々へも重ねて感謝申し上げます。

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区北五条西十一丁目六
電話代表(〇一一)二四一〇九八六番

有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(〇一一)三二二一四〇六番

株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五の二七
札幌市北区太平七条七丁目
札幌市母恋北町一の三の六
釧路市富士見一の五の九
電話(〇一一)三三八三二六二五番
(〇一一)三七四三三三三番
(〇一一)四三三三三三三番
(〇一一)五四四一三五四六番

株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(〇一一)二〇二〇二七七番
帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(〇一一)五五二七二四八九番

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店-
岩崎電子 補聴器センター
本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H-Sビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 メーフル元町1F
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビルF
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中町町3丁目25-1 Tビル
お問い合わせ 0120-231-282
フリーダイヤル
本営業部 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

有限会社 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目三二二一-一四六
電話代表(〇一一)二二二二二二一五五〇番

NPO法人 砂川つばさ
バッグの製作・修理等・革製品で
お困りの方はご相談ください
砂川市東五条南四丁目二一十二
電話(〇一一)二五五二二八五
FAX(〇一一)二五五二二八五

HOP ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北十四条東十四丁目二五 光星ビル
TEL(〇一一)七四八八二二〇
FAX(〇一一)七四八八二二一
だれもが住み良いまちづくりを応援します
ご利用者様と共に歩める介護ヘルパー募集中!
特定非営利活動法人

◆障害者支援施設
◆障害福祉サービス事業所
◆特別養護老人ホーム
◆障害児通所支援事業
◆救護施設 他
施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい
社会福祉法人 北海道光生舎
☎079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221

社会福祉法人 北海道宏栄社
障害者支援施設
〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話(〇一一)三三三三三三三三三三
FAX(〇一一)三三三三三三三三三三

会員募集中!!
北身協では札幌と旭川を除く全市町村で
身体障害者活動にご理解いただける会員を
募集しております。
詳しくは市町村役場障がい担当窓口まで!!